別紙３－３

＜ 運営推進会議における評価_様式例 ＞　※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団　　松涛会	事業所名	看護小規模多機能　ケアタウンやすおか
所在地	（〒759－6640） 山口県下関市横野町 3 丁目 1-2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

当法人の病院を中心として、他機関と連携強化を図り、医療・看護・介護・福祉が一体となり、医療ニーズがある重度の方を地域で支えることで、利用者・家族の安心感に繋げている。
医療ケアが必要であっても介護職がしっかり生活を支え、看護職が健康面と医療的サポートをすることで、在宅生活の可能性を広げ、住み慣れた暮らしのあり方や尊厳を保つケアの取り組みを行っている。

2023/03/09 事業所自己評価実施日	西暦 2022 年 12 月 20 日	従業者等自己評価実施人数	（ 16 ）人　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】）

実施日	西暦　2023 年 1 月 18 日	出席人数（合計）	（　　）人　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	□自事業所職員（　　人）□市町村職員（ 1 人）□地域包括支援センター職員（ 1 人）□地域住民の代表者（ 4 人） □利用者（　人））□利用者の家族（ 人）　□知見を有する者（　　人）　□その他（　　人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）	・イレギュラーな事態に対しての対応や優先順位が分かり理念や行動指針に基づいた自律的な行動が取れる様、理念を共有し浸透させていく。 ・事業所で取り組んでいる研修への推進。（喀痰吸引研修） 自己研鑽の年間計画に研修参加目標を組み込み計画的に学習してスキルの向上を図っていく。 ・職員参加型での改善策への合意形成が行える様、働きやすい職場作りへの課題や方針が立案できるようにメンタルヘルス制度についての研修を行う。	○コロナ過の中、他の事業所にてクラスターが発生した際、職員の応援を送り、看多機内でも濃厚接触者が出る中、看護、介護協力し事業所を運営できた。 ○登録喀痰吸引等事業者・特定行為事業者の登録を行い認定特定行為従事者の実人数を増やして行けるよう喀痰吸引研修に参加した。 ○法人内研修・外部研修へ参加し、年間の目標回数を達成出来るよう各職員スキルアップを図った。 ○プロジェクトチーム、並びに教育担当係を立ち上げ、業務改善の課題を話し合い、まとめた内容をミーティングにて周智し改善に取り組んだ。 ○メンター研修（職員 2 名）に参加し、年 6 回の講座と月 2 回のメンタリングを行い、働きやすい職場づくり・コミュニケーション能力向上・メンタル面のサポート行い職場風土の改善に取り組んだ。	・コロナ渦の中で支障なく事業所の運営ができたことは評価できる。今後の取り組みとしては、これまでの経験を基に BCP の整備及びそれに基づいた行動ができるよう注力頂きたい。 ・職員のスキル向上の取り組みについて、内部研修及び外部研修を受講できる体制が整備されていることが評価できる。可能であれば、様々な研修の実施における各職員（非常勤含む）の習熟度を確認していただきたい。 ・働きやすい職場環境に向けての取り組みについて、風通しの良い職場であり続けるよう継続した取り組みが必要であるものの、年度毎の取り組みとしては評価できる。 ・法人内・外部研修に参加し職員のスキルアップが図られています。メンター研修にも参加し働きやすい職場作りに取り組んでいます。今後も継続して下さい。 ・コロナ渦、クラスター発生の際の対策を研修しており実践の場で生かされています。

Ⅱ.サービス提供等の評価	1.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	・介護福祉士の重要なスキルとして「介護過程の展開」の一連の流れが分かり実践に繋げて行くことができるようになる。 ・利用者担当制に看護職・介護職共に責任感・達成感を持つことができるよう支援していく。	個々の利用者に対し、看護、介護の担当職員がおり、毎月アセスメント、看護計画を作成し、カンファレンスにて評価、改善を行っている。 〇統一した看護、介護が出来るようミーティングやカンファレンスにて情報共有を行った。また、職員同士協力し利用者の支援に当たれている。	・定期的なアセスメントやカンファレンス等の実施による情報共有及び利用者担当制による主体的な看護・介護を実施している点について評価できる。このことについて、各利用者の計画及びサービス提供の内容が統一的でなく、個別的なものとなるよう留意お願いします。 ・看護職、介護職の連携もできているようです。情報共有し協力しながら支援をお願いします。 ・看護・介護の相互連携がスムーズに行えている。
	2.多機関･多職種との連携（評価項目 28～31）	・介護職に対して看護マニュアル作成を通じた育成を実施 ・勉強会で看護職から介護職への疾患について等のレクチャーの実施。	〇新規の利用者、並びに状態変化のある方を随時のミーティングにて情報共有を行っている。また、毎月の勉強会時、看護職員より作成した看護マニュアルによる育成・指導を介護職へ行った。	・医療的知識を持った介護職員の育成に係る取り組みについて評価できる。他機関（病院等）との連携についてもスムーズに行えるよう体制の整備をお願いしたい。 ・介護職から介護職に対してのレクチャーは大切で、看護マニュアルは大事な事です。

	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	・利用者・家族・事業者・専門職に向けて看護小規模多機能のサービスを分りやすく説明できるツールとしてパンフレットを見直し有効に活用していく。 ・医療ニーズの高い高齢者を支援している事業所だと認識していただける様、看護・介護に関する相談等の取り組みを地域へ向けて発信していく。	○登録者以外の短期入所（ショートステイ）用と事業所用のパンフレットを新たに作成することができた。パンフレットの見直しにより、分りやすく説明できたことで、利用につながった。 ○新規作成のパンフレット等により、地域からの問い合わせも多くなり、医療関連の相談を行うことができた。	・これまで以上に分りやすいようパンフレットを印新したことについて、本市において、まだ馴染みのない看多機を理解していただくツールとして評価できる。次のステップとして、さらに看多機を認識してもらうための活動（地域包括や居宅介護支援事業所への周知）について期待したい。 ・地域住民への周知も大切です。パンフレットの見直しで分りやすくすることで理解してもらえます。 ・分りやすく説明されたパンフレットは入所者。地域住民も喜ぶと思います。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		・BPC（業務継続計画）の作成。 ・自己評価の向上・できていることの継続と振り返り ・基本的な接遇の習得。	○作成期限に向け、事業所の担当職員を中心に、会議の参加やマニュアル作成を進めている。 ○接遇アンケートや職員間のヒヤリングを通し、事業所長中心に評価を行い、必要があれば面談を行い、接遇を改善した。	・継続的なサービス提供のために、BCP の早期策定を期待する。経過措置期間終了を考慮し、策定時期及び策定スケジュールの詳細を決定するべき。 ・事業所内における接遇の改善についての取り組みは評価できる。 ・BCP 委員会作成を進めて下さい。 ・分りやすい内容で短い時間に的確に自己評価できることが、最善だと思います。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		・理念の周知方法やどのように明確にしていく等、スタッフに対する理念の活用方法を具体的に検討していく必要がある。 ・職員のスキル向上の取り組みについて、整備されていることは評価できたが、参加研修後における各職員の習熟度の確認や他の職員にフィードバックするかを含めて取り組みが必要。 ・働きやすい職場環境に向けての取り組みについて、評価できる。風通しの良い事業所となるよう継続して取り組んで欲しい。	・自分達が理念をどのように具現化できるのかを事業所内研修で確認し話し合っていく。 ・理念に基づいてスタッフがどのような役割を果たしたのかを年度末の職員会議で発表する。 ・外部研修で学んだことについて、毎月、職員会議で伝達研修する機会を設けていく。 ・メンター制度を導入し指導する立場の職員のレベルアップを図る為の研修を本年度も開催していく。
Ⅱ．サービス提供等の評価	１．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	・定期的な情報共有や主体的な看護・介護を実践している点について評価できる。各利用者の状態等に合わせた個別具体的な内容となるよう意識していく必要がある。 ・終末期ケアの必要性が大きくなることを予測し利用者及びその家族の意向を適切に把握し終末期ケアを行えると良い。職員のスキルアップも含め対応を検討していただきたい。	・ケアマネ、看護、介護スタッフ共働で計画を立案することで、適切なケアプランを作成していく。 看護職は疾患の理解、医療処置の重要性等利用者のニーズを理解し、介護職は利用者の個々の状態に合わせて支援方法を共働し話合う。 ・アドバンス　ケア　プランニングの実施 利用者が望む医療について考え、繰り返し話し合い、共有していく取り組みを行っていく。 ・ターミナルケアに関するスタッフの教育。 看取りケアにおける介護職の役割や終末期のケアの概念を理解する。
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28	・医療的知識を持った介護職員の育成に係る取り組みについて評価できる。他機関（病院）との連携についてもスムーズに行	・医療的ケアができることで、医療ニーズのある方の受け入れも積極的に行える体制を作っていく。

	～31）	える体制の整備をお願いしたい。	・退院時カンファレンスの参加や退院調整にきめ細かく対応していき急性期病院・法人外の病院の連携室との関係性を深めていく。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	・パンフレットの見直しにより、看多機を理解して頂くツールとして評価できる。次のステップとして、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への周知を期待したい。 ・地域密着型サービスであることから、地域に向けた活動の実施を検討してください。	・（地域包括） 定期的な訪問や情報提供を継続し地域包括支援センター主催の地域ケア会議への参加を行っていく。 （居宅介護支援事業所） 介護支援専門員や地域包括支援センターの集まりに参加し、居宅事業所との理解促進を行っていく。 ・自治会や地域区の総会等で事業所の特色を説明する機会を持ち、地域とのコミュニティを形成していく。 ・事業所として地域への奉仕活動を実施していく。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		・目標達成の状況は良好であることが伺えた。継続的なサービス提供のために BCP の策定・スケジュールの詳細を決定する必要がある。 ・事業所内における接遇改善についての取り組みは評価できる。	・策定した事業継続計画（BCP）に定められた（災害・感染）実効性を向上させる教育・訓練の実施、見直しを行っていく。 ・今後も提供する看護・介護の質を点検しケアの改善を行い看護・介護の質を高めていく。 ・事業所において必要な指針（高齢者虐待・身体拘束・感染）を講ずるための体制を整備していく。 ・４４項目のできていることは今後も継続し自己評価の向上を図っていく。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表［事業所自己評価・運営推進会議における評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	2	11	3		① から⑤の理念等を掲げているかどうか不明。「具体的な状況・取り組み内容」には、①から⑤の理念等が掲げているかどうか、どのように明確にしているか等についても記載が必要では？ ・看護・介護で連携し理念が明確にされています。 ・看護小規模の特徴を踏まえた理念等が具体的な取り組みでおおよそできている。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>［具体的な状況・取組内容］</u> ① 医療の目的とニーズに沿って看護・介護の両面からサポートし地域で支えている。 ② 看取りの体制を整え受け入れを行うことができた。 ③ 科学的介護報告システムへの情報提出より、生活機能の問題について評価し維持回復に努めている。 ④ <u>⑤</u> 登録者以外の短期利用（ショートステイ）を４月より開始し家族の負担軽減や安岡病院との医療連携をとることで、利用者・家族にとって安心して生活ができる環境を整備している。						

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における評価
コメント記入欄</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よくできている</th><th>おおよそできている</th><th>あまりできていない</th><th>全くできていない</th></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している</td><td>2</td><td>13</td><td>1</td><td></td><td rowspan="2">・周知の方法について、定期的な内部研修等に盛り込むことができれば、さらに良いと思います。
・職員全員に理念が浸透できているようです。周知の維持をお願いします。</td><td rowspan="2">✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します
✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・事務所に独自の理念を掲示し職員全員に浸透できるようにしている。
・専門職としての職業理念を再確認し、基本倫理である自立・自律支援・尊厳を支えるケアの実践を学び、職員に理念の意義や重要性の周知を行っている。</td></tr>
<tr><td colspan="7">（2）人材の育成</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="7">① 専門技術の向上のための取組</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している</td><td>3</td><td>13</td><td></td><td></td><td rowspan="2">・「各職員個別の目標」の取り組み素晴らしいと思います。画一的にものにならないよう継続して下さい。
・個別目標に向かってスキルアップできています。常に振り返りと評価をお願いします。</td><td rowspan="2">✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します
✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」
✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・年間を通し個別目標を設定し自己研鑽を行い目標達成することで、スキルアップを図っている。</td></tr>
</table>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
		・目標管理シート作成し、個人目標を立て、キャリアアップを図り、振り返りと評価を行う。 ・各種マニュアルによる育成を行っている。				・職員のスキルアップが進んでいる。	
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	12	2		・法人内の研修に２名が参加とのことですが、知識を事業所に持ち帰って、単なる資料の回覧のみにとどまらず、どのように他の職員にフィードバックするかを含めて取り組むようお願いします。 ・引き続き職員の知識向上に努めて下さい。 ・職員のスキルアップ向上に努めていることがうかがわれた。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・法人内のメンター研修に職場より２名の参加を行い、よりよい職場づくりができるように努めた。 ・職員全員、外部研修の参加目標を立て専門職としての知識の向上に努めている。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確	3	13			・良いと思います。継続してください。 ・カンファレンスを通して共	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケー

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
	保されている	**[具体的な状況・取組内容]** ・職種別の情報共有を行い利用者、個々のカンファレンスを毎月行うことで共通理解に努めることができた。				通理解に今後も努めて下さい。 ・各専門職間の情報共有が図れています。	スについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
（3）組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		12	4		・運営推進会議での情報は全員で共有してください。 ・コロナ渦で運営推進会議が中止となっている状況下・有効な提言が出来ていない。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議はコロナの為、殆ど開催することができなかったが、書面にて活動報告等を行い助言をいただき、議事録等の内覧で情報共有し、ミーティングや話し合いで反映している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	4	11	1		・風通しの良い事業所となるよう継続して取り組んで下さい。 ・業務改善チームの効果がみられます。メンタルヘルス研修も続けて下さい。 ・施設に携わる職員のメンタルチェックは本当に大事なことと思います。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・年２回のストレスチェックの実施 メンター研修で信頼関係の構築に努めた 業務改善チームを構成し、業務の効率化や仕事の見える化を進め職場環境の整備を行ったことで、離職率の低下や職員の定着に繋がった。 外部講師による継続的にメンタルヘルスの研修を受けた。					
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速	4	11	1		・情報共有するために工夫されていると思います。 ・	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
	に共有できるよう工夫されている	[具体的な状況・取組内容] ・色々なツール（申し送り・看護・介護別伝達ノート）を活用し情報共有を行い業務に入る際は、ケア記録等を確認し、情報共有している。					ます
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	3	12	1		・介護事故等を0にすることは困難ではあると思いますが、発生した場合にどのように対策するかを講じるかが重要ですので、全職員への意識付けをお願いします。 ・利用者・職員の安全確保のため、様々な取り組みができています。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・コロナ禍において、感染対策を日々行い、消毒や掃除を行い記録している ・医療事故・予防対策として法人内の医療安全委員会へ参加することを確立させた。 ・事業所内研修を行い個人情報保護につて学び知識を得ることができた。 ・職員の夜間の防犯対策については、セキュリティーをかけることにより安全確保の対策が練られている。					

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における評価
コメント記入欄</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よくできている</th><th>おおよそできている</th><th>あまりできていない</th><th>全くできていない</th></tr>
<tr><td colspan="7">② 災害等の緊急時の体制の構築</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td rowspan="2">○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている</td><td></td><td>14</td><td>2</td><td></td><td rowspan="2">・BCP 早期策定をお願いします。
・</td><td rowspan="2">✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します
✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・年２回、防災訓練を行い、施設内の各部署の参加もできている。
・フローチャートも作成できており、現在 BCP 作成中。</td></tr>
<tr><td colspan="7">Ⅱ　サービス提供等の評価</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="7">1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="7">（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="7">① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td rowspan="2">○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている</td><td>3</td><td>11</td><td>2</td><td></td><td rowspan="2">・在宅利用者の生活状況の把握は居宅サービス計画等を作成する上で重要な業務であるため感染対策の上、実施してください。
・家族への電話での報告は喜ばれると思います。</td><td rowspan="2">✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します
✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・コロナの為家族の面会ができていないので、家族の来所時は生活の様子や病状の変化をお伝えたり、電話での報告を随時行っている。</td></tr>
</table>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
						・コロナ渦、家族との接触が極力制限される中、職員の活動は極めて大切です。	
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	14		2		・看護、介護での情報共有は大切です。引き続きお願いします。 ・看護・介護職のそれぞれの情報共有は一段とスキルアップに繋がります。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・看護・介護両職種ノートで情報共有を行い、カンファレンスやミーティングで話し合いを行い、情報共有をしている。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が	3	11	2		・コロナ渦でコミュニケーションが取りづらい時だからこそ、家族との関係性を保つ	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考え

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	作成されている	［具体的な状況・取組内容］ ・担当の利用者・家族の想いに耳を傾けるようにしている。 ・本人・家族の希望や意向を把握し顔が見える関係を保てるようにいている。				ため、コミュニケーションを取ることを意識して下さい。 ・利用者だけではなく家族の思いにも耳を傾けて下さい。 ・利用者等の考え・目標の達成が明確化すれば励みになると思います。	を適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	3	11	2		・計画を作成する上で、画一的なものではなく、各利用者の状態等に合わせた個別具体的な内容となるよう意識して下さい。 ・利用者の能力を生かした計画の作成をお願いしたい。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		［具体的な状況・取組内容］ ・９月より、LIFE システムへの情報提出を行い口腔機能向上サービス計画を作成し、栄養状態・嚥下機能・口腔内の機能向上に努めている。 ・口腔内のアセスメントにより歯科受診につなげている。					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	3	12	1		・看護師による予防予測を踏まえての計画作成を引き続きお願いします。 ・リスク管理を踏まえた計画作成ができている。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・入所時・退院時　主治医・看護師による予防予測を行い計画を作成している。 ・毎月の看護計画を作成している。					
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	3	13			・サービス提供の中で利用者の状況変化が把握できるよう、サービス提供をする各職員は常に利用者の状態観察等を行い、記録をするようにして下さい。 ・主治医への連携はできています。早期の把握をお願いします。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・体調変化時、看護師により訪問・状況把握や早急に主治医への連携を図り計画変更を適宜行っている。 ・					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
						・利用者の状況を早期に把握し関係者の連携のもとに利用者を最善の状態にするための体制が良く図られている。	
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		12	3	1	・在宅利用者は居宅での生活が基本であることから、計画を作成する際はサービスの種類が偏りがないよう訪問サービスの位置付けも検討するようにして下さい。 ・利用者宅を訪問し生活状況を把握し安心できるようサポートをお願いします。 ・在宅看護・介護を充実するための在宅での生活状況を継続的に把握することは、重要であるが、困難な面もあると思います。更なる充実が図れることをお願いします。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者または家族が安心して生活できるようにサポートしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	3	12	1		・多職種・主治医との連携はできています。 ・利用者等の目標達成度の状況を関係者で情報共有していれば更なる目標に向けてスムーズに進めることができるのではないかと思います。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医または医療機関 NS に連絡できるよう緊急時の報告経路を決めており、フローチャートを作成し多職種と連携している。 ・主治医に連絡・報告・相談を適時に行っている。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	5	11			・職種の専門性を活かし、効率的に業務を行って下さい。 ・朝のミーティングを活用し役割分担を行うことができています。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提
		[具体的な状況・取組内容] ・朝のミーティングで１日の業務を確認し合い相互の役割を把握することで、効果的に役割分担を行うことができてい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		る。 ・夜間看護師が対応できるように配置している。				・専門性を生かした連携と情報共有あ機能しています。	供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	13			・意見交換できる職場環境は大切です。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・毎月、個々のカンファレンスを行い、担当看護師・介護士からアプローチを行い、毎月のミーティングで状態の説明を行うことで意見交換しやすい職場環境を整えている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	2	14			・看護職から介護職への提案・報告ができており継続してお願いします。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の１つとして期待されます
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
		・看護職より、処置方法報告や内服等の変更などは随時報告を行い全体ミーティングで、状態変化のある利用者に対して認識のズレがないよう看護師から介護士への提案が行われている。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		16			・家族にも分りやすく説明することができ、理解してもらえるようです。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・家族からの質問や問い合わせについて専門用語は使わずに分かりやすく説明を行っている。 ・パンフレット等を活用し時前説明を行っている。 ・毎月、看護計画書作成の見直しを行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	14	1		・計画にたいする同意書を得る際には懇切丁寧な説明を心がけて下さい。 ・引き続き家族に理解していただけるようにお願いしまう。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 担当者会議にてわかりやすく説明し、内容の変更の際も家族にご連絡し理解を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	3	10	2	1	・利用者等が自ら医療処置等を行う場合についての評価なので状況・取り組み内容が合致していないように思います。 ・医療的なことを分りやすく説明し家族に理解していたでけるように努めて下さい。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 看護・介護において利用者に応じたわかりやすい言葉や、ケア方法、医療処置などを実践したい時など、ご家族への連絡や相談を行い、理解をして頂くよう努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	14		2		・利用者。家族の意向を聞きサービス提供できています。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 入所時に家族の意向、緊急時の際の対応等、ご家族の意向を聞き、反出来る様に取り組んでいる。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	14		2		・家族への相談、主治医への相談ができている。 ・在宅看護等が難しい方の基準を決め情報を共有し本人・家族に伝えておくことは大事なことであるし良く出来ていると思います。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 予測される危険リスクや対応策について予め家族に報告や相談を行っている。 状況の変化等は主治医にも相談し、家族・					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
		本人にお伝えしている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		**10**	**5**	**1**	**・自己評価から終末期ケアついての説明等があまりできていないように思える。今後、終末期ケアの必要性が大きくなることが予測されるため、利用者及びその家族の意向を適切に把握し、終末期ケアを行っていただきたい。** ・終末期ケアに対する丁寧な説明と記録作成の内容については、関係者個々のバラツキは発生しませんか？	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] ・医師による説明、本人、家族に病状や状況変化等の説明を行い、気持ちの変化等にも対応を行いつつ、経過、記録を残している。 ・看護小規模における ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の状況について考える機会を持つ事ができた。					
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報	4	12				✓ 「利用者の円滑な在宅生活への

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
	共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している					・在宅看護・介護への移行は施設、病院との縁がきれないという安心感が必要だと思う。	移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 主治医との連携、入所時は看護サマリー・アセスメントの情報提供を行い退院前カンファレンスを密にすることで在宅生活の意向を支援できている。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	**3**	**13**			・緊急時の対応おねがいします。 ・緊急時に対応するシステムが図られていることは大事なことと思います。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ［具体的な状況・取組内容］ 主治医より訪問看護指示書を受け、看護計画を作成し、実施している。 緊急時は主治医へ相談し、指示を得ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	3	13			・マニュアルに沿って急変時の体制ができています。引き続きお願いします。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 看護師の夜勤不在時は２４時間オンコール対応にて連絡体制を整えている。マニュアルに沿って急変時の体制を整えおり、安岡病院と連携し即座に対応可能な体制を整えている。					
（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートに	3	10	2	1	・コロナ渦ではありますが、可能な限り地域資源等の情	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケア

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	ついて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	[具体的な状況・取組内容] コロナ禍の為、会議の開催が難しい状況でも、看多機通信や状況報告等を書面にて提供している。				報を共有できるように努めて下さい。 ・書面での開催にて情報提供できています。 ・コロナ渦、運営推進会議は中止の連続ではありましたが、資料や活動内容を見ています。良く活動されていると思います。	の提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	4	11		1	・実際はコロナ渦で内覧はできないと思いますが、準備だけはお願いします。 ・情報発信はできています。 ・開示できる情報を多く発信されていることが良く分り	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 看多機通信にて外部へ、施設の取り組み内容の紹介を行っており、運営推進会議					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		の記録や外部評価の公表を事業所入口に用意し閲覧可能にしておりホームページにおいても公表している。				ます。	
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		6	9	1	・コロナ渦で難しいとは思いますが、地域密着型サービスであることから地域に向けた活動の実施を検討して下さい。 ・ホームページの更新もお願いします。 ・今後の課題ですね。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ホームページの掲載や広報誌にてサービスの概要を紹介し、ご利用者様やご家族様には看多機通信にて活動や行事の様子を紹介できている。					
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している						✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」
		[具体的な状況・取組内容] 指定なし					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4	11	1		・体制も整備され、積極的な姿勢が感じられる。 ・積極的に受け入れができています。引き続きお願いします。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 介護職も喀痰吸引研修を受講し認定特定行為従事者の実人数を整え登録喀痰吸引等事業者の登録を行い積極的に受け入れができる体制を整えている。各階に吸引器を準備しており、積極的に受け入れている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		3	13			✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 看護マニュアルの作成は出来ているが、設備含め、受け入れ出来ていない。					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	3	5	8		・在宅における看取りの必要性 は今後高まってくると予測されるため、体制の整備は必要と思われる。職員のスキルアップも含め対応を検討いただきたい。 ・介護職が不安なく看取りのできる体制作り、研修を今後も続けて下さい。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・看取りのマニュアル作成、Dr との連携、劇薬の管理等、受け入れの準備を整えている。 ・介護職が不安なく看取りのできる体制作りとして、看護職よりグリーフケア実施についての研修を行った。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
（3）地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	2	8	6			✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 施設研修の取り組みの１つとして、研修を行い、地域包括ケアシステムについての役割や理解を深めている。					
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積		8	8		・地域密着型サービスであることから、当然、地域に開かれた事業所である事を意識	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定するこ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりできて いない	全く でき てい ない		
	極的にサービスを提供している	[具体的な状況・取組内容] 毎週末、ご自宅で過ごされるご利用者様やショートステイの受け入れにて、可能であれば広く受け入れている。				した事業運営をお願いしたい。 ・在宅での利用者の受け入れもよろしくお願いします。 ・一般住宅に居住する利用者への積極的な受け入れると職員の負担増との兼ね合いはどうなのかと思います。	となく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		8	7		・地域の関係者ともネットワーク作りが必要かと思われます。 ・関係者等への積極的な問題提起・改善策の検討は結構ですが、スタッフの負担が更に加重されるのではないですか？	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も
		[具体的な状況・取組内容] 感染症や災害の発生した場合であってもサービスが継続的に提供出来る様 BCP の策定を進めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	4	11	1		**・在宅で介護を行う家族等へのサポート等を期待したい。** **・住民との関わりも大切と思います。今後も介護力を高めて下さい。** **・利用者等との信頼関係を結ぶ第一歩は初対面での印象が大きな影響があると思います。何気ない対応は是非とも継続すべきです。**	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 職員がマナーを守ることで利用者の尊厳や利用者・家族との信頼関係を築けるよう、接遇の向上に力を入れ取り組んだ。 ・挨拶・言葉づかい・表情・傾聴・身だしなみを意識する。自己評価・他者評価の実施。 ・毎週月曜日の朝礼時、身だしなみチェックを行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	(1) ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない **[具体的な状況・取組内容]** モニタリング評価や看護計画に沿って概ね実行できている。	・目標達成の状況が良好であることが伺える。これに満足せず利用者の生活機能等の維持向上の視点から、利用者個々の計画目標の設定を期待する。 ・計画目標が達成されています。引き続きお願いします。	✓「計画目標の達成」について、評価します。
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が	(1) ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない	**・同法人の安岡病院との連携が出来ているため、利用者及びその家族も安心だと思います。**	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	得られている	[具体的な状況・取組内容] 医療との連携や看護師の24時間対応等、継続的支援対応ができており、安心感が得られている。	・在宅での生活が安心してできるようにお願いします。	ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている (4．) 利用者の1/3には満たない 5．看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] 医療機関・他職種との連携を行い対応可能な方に提供できている。	・全利用者が看取りの対象とはならないと思いますが、在宅での看取りに対する安心感を提供できるよう心掛けて下さい。 ・医療。他職種との連携を図りながら対応お願いします。 ・これからの重要課題であると思います。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5．看取りの希望者はいない」